



連合奈良の日(11/6) 近鉄大和高田駅

コロナ禍で働き方や生活が大きく変わった人、長時間労働が続いている人、・・・自分でも気づかないうちに不安やストレス、疲れが溜まっていることがあります。自分の働き方、職場の仲間の働き方、家族の働き方を今一度振り返ってみましょう。

11月は過労死等防止啓発月間です
過労死・過労死自殺が毎年200件も認定されています。

最近では、パワハラやセクハラを原因とした精神障害の労災申請件数が急増しています。大切な命を自ら守るためにも「健康で働き続けられる職場づくり」に取り組みましょう。

ポイントは、労働時間をしっかりと把握すること
きちんと労働時間を把握することで長時間労働を防ぎましょう。

ハラスメントの無い職場にしましょう
様々なハラスメントに対応できる相談窓口の整備や職場への周知を進めましょう。



勤務間インターバル制度を取り入れましょう
労使の話し合いで就業から翌日の始業までの間に十分な休息が取れる時間を設定した勤務間インターバル制度の導入に取り組みましょう

連合奈良 第25回地方委員会開催



11月5日に開催された連合奈良第25回地方委員会でその補強案が確認・承認されました。

新型コロナウイルス感染症との共存が言われる中でその連合運動は、制約を受ける場面があることを前提にして組合員をはじめ一般市民の皆さんからも評価されるものでなければなりません。新型コロナウイルス感染拡大によって、にわかに注目されたリモート会議やテレワークは、盗聴・情報漏洩・サイバー攻撃などのセキュリティ問題を抱えているものの会議の在り方、働き方を変えてしまうかもしれません。こうした大きな環境変化が起こる時代に労働組合の役割は何なのかを考えてみる必要があります。

また、急速なAI、IoTの進展は生活の利便性向上や多様な生活・就労スタイルを生み出す一方、雇用と自営の中間的な働き方や、業務委託、請負、フリーランスなど従来の労働関係法令では保護の対象とならない「曖昧な雇用」で働く人が増え現行制度で対応ができない場面が想定されます。現にコロナ禍で曖昧な

雇用形態で働く人たちが今の労働法では保護されないことが浮き彫りになり早急な見直しが求められています。

働き方の多様性が従来の「労働者」の枠を超えたのだとしたら護るべきもの・護るべきことは何なのか？地域で連合運動を進めるに当たってもそのことを意識しておく必要があります。

立憲民主党奈良県連結成

於:リガーレ春日野 2020年11月15日 13:00

“新党”立憲民主党奈良県総支部連合会が発足し、当面の活動方針として以下の3つが掲げられました。

1. 県連としての新
2. 総選挙に向けての県連体制の強化を図る
3. 地方選挙の勝利に向けて総力を挙げて取り組む



党の理念及び政策を有権者に伝え、支持を得るために「地域に根を張る強固な組織」が求められ、県連は現職議員、予定候補者、職員、支援者が一丸となって奈良に根を張る組織構築に努めるとしています。

中和地協 第29回定期総会

中和地協第29回定期総会を12月4日(金)に奈良県産業会館大会議室にて開催します。